令和５年度福井県衛生環境研究センター所内研修会について

「衛生環境研究センター　技能研修制度」に基づく令和５年度の福井県衛生環境研究センター所内研修会については、以下のとおりです。

開催状況

研修会４回（所内職員講師研修１回、外部講師研修３回（うち１回は実技を含む））

研修内容および参加状況

	研修内容	参加者
第１回	LC-MS/MS 基礎技術研修会 講師：株式会社エービー・サイエックス　下津氏、田中氏	11 名
第２回	特管産廃管理責任者による適用法令研修 講師：保健衛生部　石森部長	23 名
第３回	リスクコミュニケーション研修（第１回） ～一般的なリスクコミュニケーションの基礎知識～ 講師：二州健康福祉センター　前田央子生活衛生課長	17 名
第４回	リスク対応経験から学ぶ リスクコミュニケーション研修（第２回） 講師：日本リスク学会正会員、福井大学医学部非常勤講師 坪内彰氏	24 名

所内研修会実施報告書

日　　時	令和５年 12 月 26 日（火）10:00～16:35、27 日（水）10:00～16:50
場　　所	オンライン会議室、機器分析第４室
参　加　者	講　師：㈱エービー・サイエックス　下津氏、田中氏 受講者：１１名

第１回　LC-MS/MS 基礎技術研修会

【目的】

・メーカーのエンジニアを招き、高速液体クロマトグラフ質量分析計（LC-MS/MS）の基礎的な操作方法、メンテナンス方法等を学ぶことで装置への理解を深める。

【内容】

１．LC-MS/MS の基礎
　－原理とシステム構成、分析事例
　－導入機種の特徴とソフトウェア

２．機器のキャリブレーションならびにメンテナンス方法
　－機器の状態と接続、MS 部のキャリブレーション、メンテナンス（真空解除有/無での分解洗浄）、真空ポンプの保守

３．メソッド開発
　－MS 部および LC 部の最適化、分析条件設定、バッチ作成、解析、ライブラリ

【スケジュール】

【講義（担当者：下津氏）】資料①

12/26（火）

10:00-10:40　LC-MS の基礎

10 分休憩

10:50-12:10　QT45、SCIEX OS、QTRAP の紹介、質疑応答

【トレーニング（担当者：田中氏）】資料②

12/26（火）

13:15-16:35　メンテナンスならびにキャリブレーション

12/27（水）

10:00-16:50　初級定量（メソッド開発）

資料マニュアル

・初級定量トレーニングテキスト SCIEX OS ソフトウェア説明用資料
　操作マニュアル　測定・定量解析：SCIEXOS

・4500,5500,6500,7500 シリーズ　メンテナンスマニュアル
　機器メンテナンス

・3500,4500,5500,6500,7500 シリーズ　キャリブレーションマニュアル
　機器操作

所内研修会実施報告書

日　　時	令和６年１月12日（金）13:15～13:30
場　　所	テレメータ棟２階会議室
参　加　者	講　師：保健衛生部　石森部長 受講者：２３名

第２回　特管産廃管理責任者による適用法令研修会

【目的】

所内適用法令である廃棄物処理法（廃棄物の処理及び清掃に関する法律）およびPCB特別措置法（ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法）について理解を深める。

【内容】

講師より資料に基づき特別管理産業廃棄物法令の概要および当センターの状況について説明があった。

・特別管理産業廃棄物とは
・事業者（排出事業者）の責任、処理を委託する場合の対応、マニフェストについて
・特別管理産業廃棄物の保管方法について
・特別管理産業廃棄物管理責任者の設置について
・ＰＣＢ廃棄物の処分期間等

（質疑応答）・医療系（感染性）廃棄物について

〇配布資料
・特別管理産業廃棄物に関する法令について（当センター関係）
・（福井市のリーフレット）産業廃棄物の適正処理のために

所内研修会実施報告書

日　　時	令和６年１月２６日（金）16:00～16:40
場　　所	テレメータ棟２階会議室
参　加　者	講　師：嶺南振興局　二州健康福祉センター　前田央子生活衛生課長 受講者：１７名

第３回　リスクコミュニケーション研修（第１回）
～一般的なリスクコミュニケーションの基礎知識～

【目的】
リスクコミュニケーションについての基礎的な知識を学び、理解を深める。

【内容】
講師より発表資料に基づきリスクコミュニケーションについて説明の後、実習演習があった。
・リスクコミュニケーションとは
・リスクコミュニケーションの目的
・リスクコミュニケーションの例
・望ましいリスクコミュニケーションとは
・リスクコミュニケーションのステップ
・準備、資料作成時の注意点、意見交換のための準備・訓練について
・演習問題

（質疑応答）
・講師自身の受講後の活かし方について
・リスクコミュニケーションを実践しなかったことによる失敗例について

〇配布資料
・演習用チェックシート

［公演の様子］

所内研修会実施報告書

日　　時	令和６年２月２２日（木）13:30～15:00
場　　所	テレメータ棟２階会議室
参　加　者	講　師：日本リスク学会正会員、福井大学医学部非常勤講師　坪内彰氏 受講者：24 名

第４回　リスク対応経験から学ぶ
リスクコミュニケーション研修（第２回）

【目的】
講師のリスク対応経験からリスクコミュニケーションの注意点について学ぶ。

【内容】
講師より発表資料に基づき自身の記者会見と住民説明会の経験を例にリスクコミュニケーションについての講演があった。
・リスクコミュニケーションとの《出会い》
・リスクコミュニケーション《体験談》
　地下水汚染に関して-住民説明会-
　ナホトカ号重油流出事故における-記者会見-
　その他事例紹介
・リスクコミュニケーション《概論・一般論》

（質疑応答）
・化学物質についての有効なリスク対策について
・起こってからのリスクコミュニケーションは難しい。リスクコミュニケーションはどういったところから取り組めばよいか。

〇配布資料
・リスクとコミュニケーション（レジュメ）
・リスクとコミュニケーション（追加資料）

［公演の様子］